

どの集団生活を安心して送れるよう支援していきます。

※造血細胞…
・血球を作り出すもとなっている細胞。細胞分裂を繰り返しながら造血を行っている。
※造血細胞移植…

・通常の化学療法や免疫抑制療法だけでは、治すことが難しい血液がんや免疫不全症などに対し、完治を目的として行う治療。
・超大量の抗がん剤や放射線療法により患者の体内の悪性細胞や機能不全の骨髄を徹底的に根絶し、その後正常な造血細胞を静脈内投与することにより骨髄の再構築を図る治療法。

3 すべての難聴児を支援します

言葉や知識、コミュニケーション能力など様々なことを習得する学齢期において、「聞こえる」ということはとても大切です。しかし、聞こえづらいために、「授業についていけない」「コミュニケーションが取りづらい」という困りごとを抱えながら生活をしている子どもたちがいます。

そのため、県では、身体障害者手帳の交付対象とならない18歳以下の中度・軽度難聴児への支援として、これまで、補聴器の購入や修理費等を助成してきましたが、今年度から新たに、片耳難聴児や人工内耳を装着している難聴児へも助成対象

6 医療費全国ワースト1脱却を目指します

佐賀県は、市町国民健康保険の「一人当たり年齢調整後医療費^(※1)と、特定健診^(※2)の結果における「糖尿病の可能性を否定できない人・強く疑われる人」の割合が、全国で最も高くなっています。

県では、自覚症状がまままま進行していく糖尿病などの生活習慣病の早期発見や重症化予防のために、特定健診の受診率向上を目指しています。そのため今年度は、医療機関に通院中で特定健診を受けられていない方々に対して、各市町村からの訪問や電話などにより受診を勧めています。

この他にも、後発医薬品に切り替えることで医療費の抑制効果が大きいのと思われる方々に対して後発医薬品利用の勧奨通知を行うなど、県民の健康を保持するとともに医療費の適正化を図ることで、医療費全国ワースト1からの脱却を目指します。

※1. 年齢調整後医療費…その地域の被保険者の年齢構成が、全国平均と同じとした場合の医療費
※2. 特定健診…40歳以上74歳以下を対象とした高血圧症、脂質異常症、糖尿病等その他の内臓脂肪の蓄積に起因する生活習慣病に関する健康診査

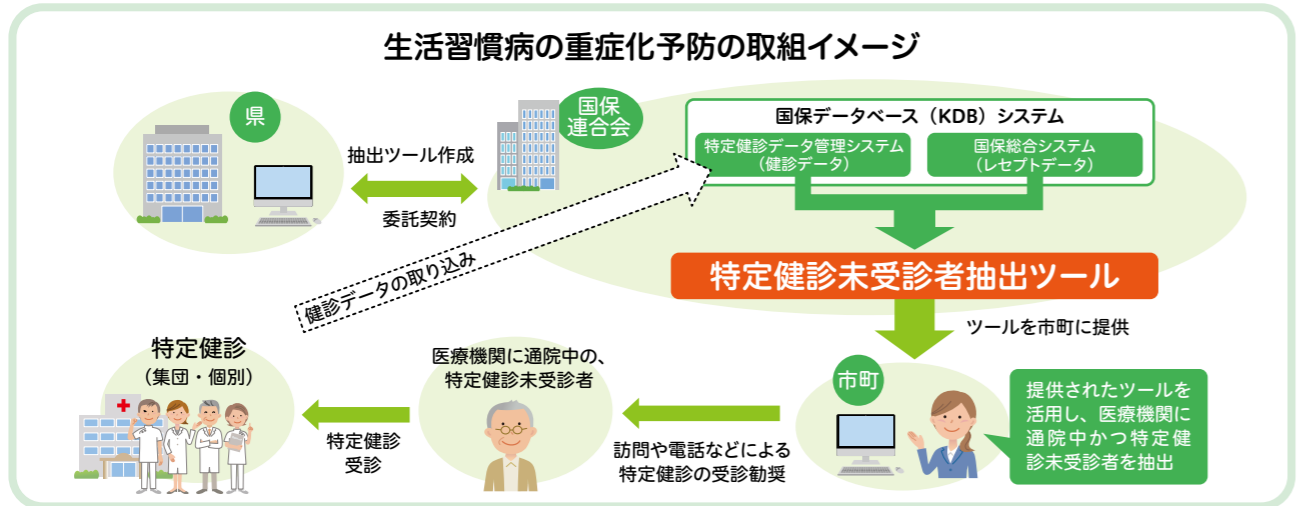
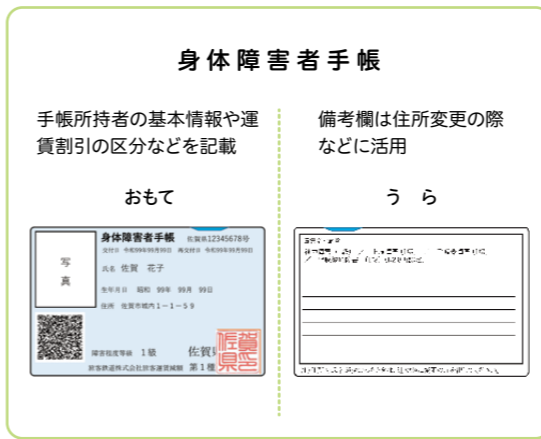
を広げます。聞こえづらいために困っている子どもたちに寄り添い、それぞれの学びやコミュニケーションの機会をサポートします。

4 障害者手帳のカード化が始まります!

佐賀県では、全国に先駆けて、障害者手帳(身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳)をカード化します。カード型の障害者手帳は、財布やパスケースにも入るサイズなので持ち運びしやすく、耐久性もあり、利便性が向上します。

これまでどおりの紙製の障害者手帳も

カード型障害者手帳のイメージ



発行できますので、使用される方ご自身で、紙製もしくはカード型のいずれかをお選びください。

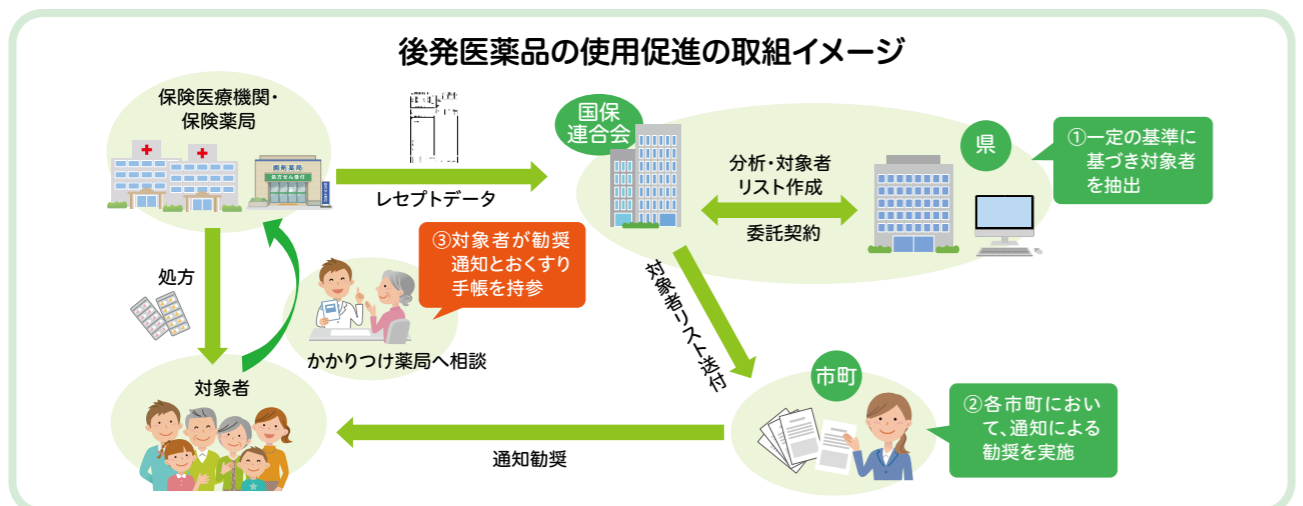
5 発達障害児やその家族への支援体制の充実

発達障害のあるお子さんをもつご家族、子育てが難しいと感じている方々には、子育てへの段階的で丁寧な支援を行うことが大切です。

こうした方々への支援の一つに、子育て応援プログラム「ペアレント・プログラム」があります。ご家族が、お子さんの行動の特性を学び、かわり方を工夫することで楽しく子育てをする自信をつけたり、子育ての仲間を見つける機会となっています。

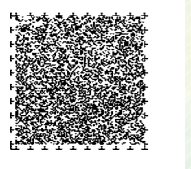
県では、このプログラムの講師や、児童発達支援センターの支援者を養成し、ペアレント・プログラムを提供する体制を整えます。

また、身近な地域のかかりつけ医を対象に、発達障害に関する知識や家族への支援方法の研修を実施することで、発達障害児やそのご家族への支援体制の充実を図っていきます。



お問い合わせ先

6【医療費ワースト1脱却】国民健康保険課 ☎0952-25-7057 ✉kokuho@pref.saga.lg.jp



お問い合わせ先

3【補聴器】障害福祉課 ☎0952-25-7064 ✉shougaifukushi@pref.saga.lg.jp
4【障害者手帳カード化】障害福祉課 ☎0952-25-7064 ✉shougaifukushi@pref.saga.lg.jp
5【ペアレント・プログラム】障害福祉課 ☎0952-25-7064 ✉shougaifukushi@pref.saga.lg.jp
発達障害情報・支援センター URL <http://www.rehab.go.jp/ddis/>

